

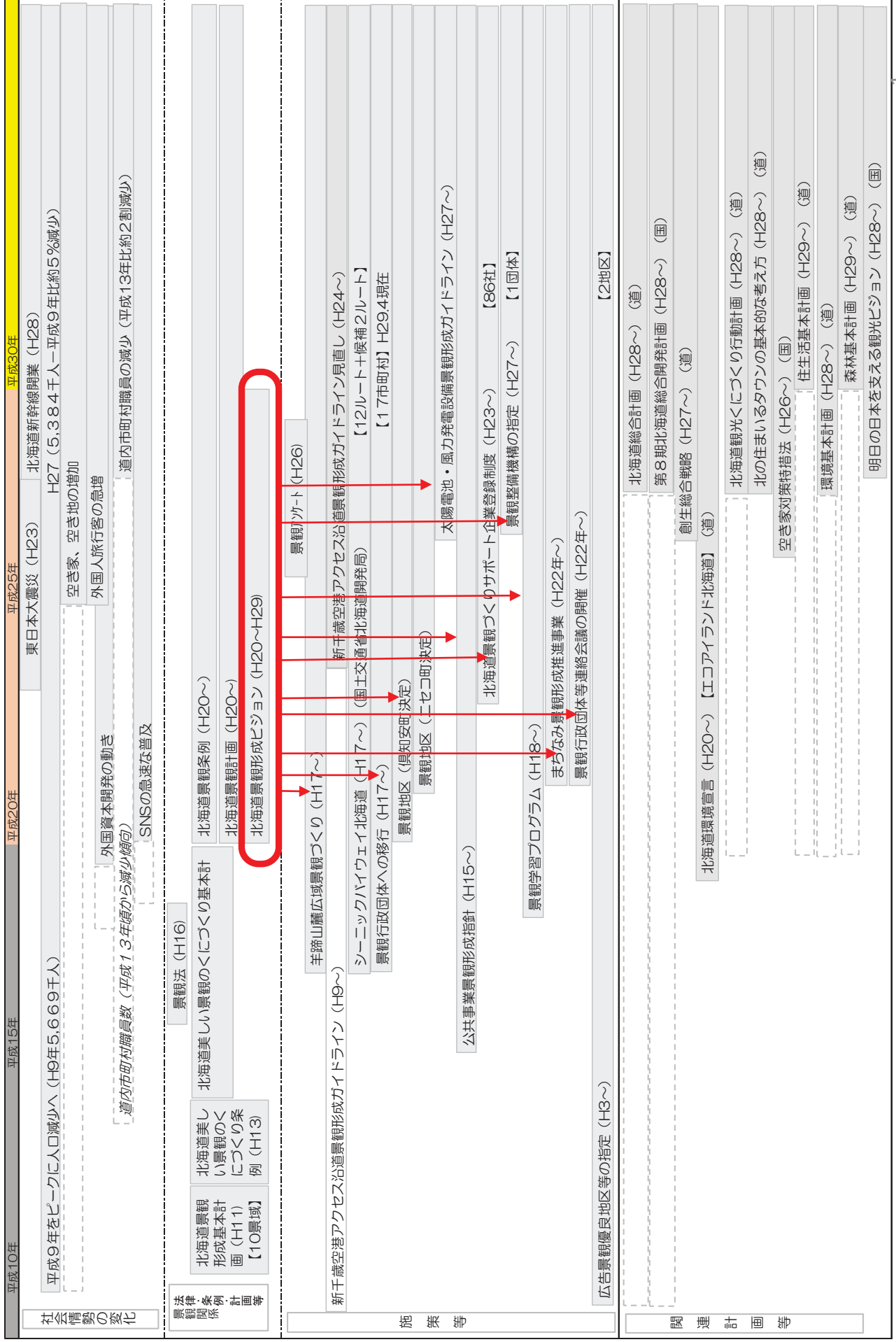
# 第44回景観審議会資料

H30. 3. 28

北海道建設部まちづくり局都市計画課

基本計画・景観グループ

# 北海道の景観施策の系譜



# 景観形成ビジョンに基づく主な取組の自己診断 (イメージ)

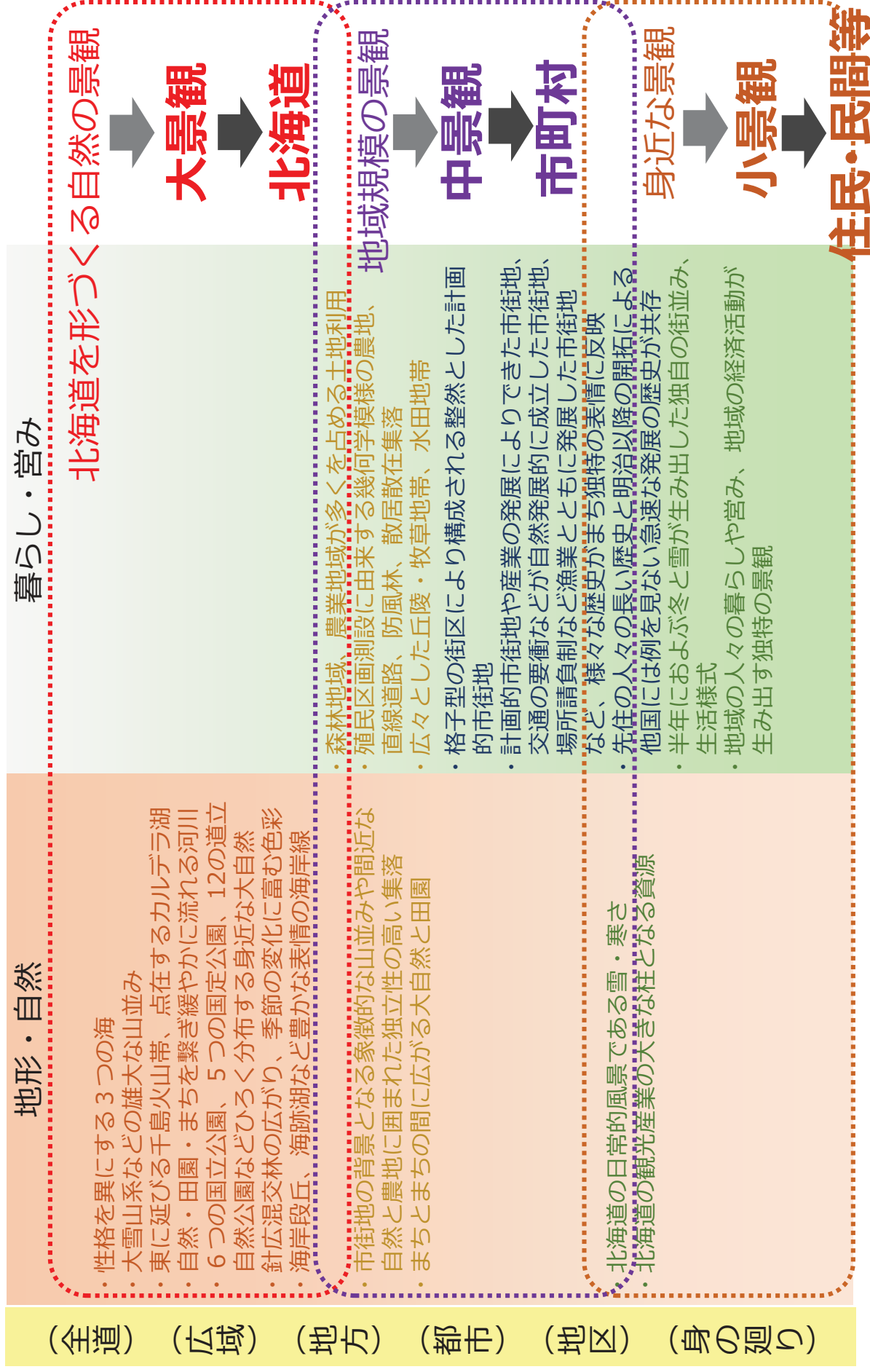
【これまでの主な取組】	【自己診断】 (イメージ)	【自己評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広域景観形成推進地域の指定推進</li> <li>○ 市町村の景観行政団体移行の推進</li> <li>○ 景観に対する意識向上を図るための説明会、セミナー、フォーラム等の開催や情報発信</li> <li>○ 北海道景観計画に基づく規制、誘導</li> <li>○ 企業との協働を図るための仕組みづくり、運用</li> <li>○ 太陽光発電・風力発電設備に係る景観形成ガイドラインの作成、運用</li> </ul> <p>など</p>	<p>【基本方針1】 一体性と連続性のある広域景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域景観づくりの意識の共有 ★☆☆☆</li> <li>・ 広域景観づくりに向けた体制づくり ★☆☆☆</li> <li>・ 広域景観づくりの推進 ★☆☆☆</li> </ul> <p>【基本方針2】 協働による多様な景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な景観づくりの機運の醸成 ★★☆☆</li> <li>・ 協働の体制づくり ★★☆☆</li> <li>・ 多様な景観づくりの取組への支援 ★★☆☆</li> </ul> <p>【基本方針3】 戦略的な活用を図る景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコアイランド北海道 ★★☆☆</li> <li>・ 食のブランド・北海道 ★★☆☆</li> <li>・ 感動のくに・北海道 ★★☆☆</li> </ul> <p>【基本方針4】 地域の総合的な質を高める景観づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観資源の維持保全 ★★☆☆</li> <li>・ 制度を活用した景観づくり ★★☆☆</li> </ul> <p>【基本方針5】 景観づくりを支える人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観づくりの普及啓発 ★★☆☆</li> <li>・ 景観づくりを担う人材の育成 ★★☆☆</li> <li>・ 景観づくりのネットワーク形成 ★★☆☆</li> </ul>	<p>市町村を越える大きな景観づくりに対する取組がまだ不足している</p> <p>身近な景観に対する道民意識は向上している</p> <p>他分野の施策との関係性が希薄だった</p> <p>届出制度により景観保全がされている</p> <p>景観の担い手が増えてきた一方、一層の活発な活動が期待される</p>

できた ★★★★★ ←☆☆☆☆☆ できなかった

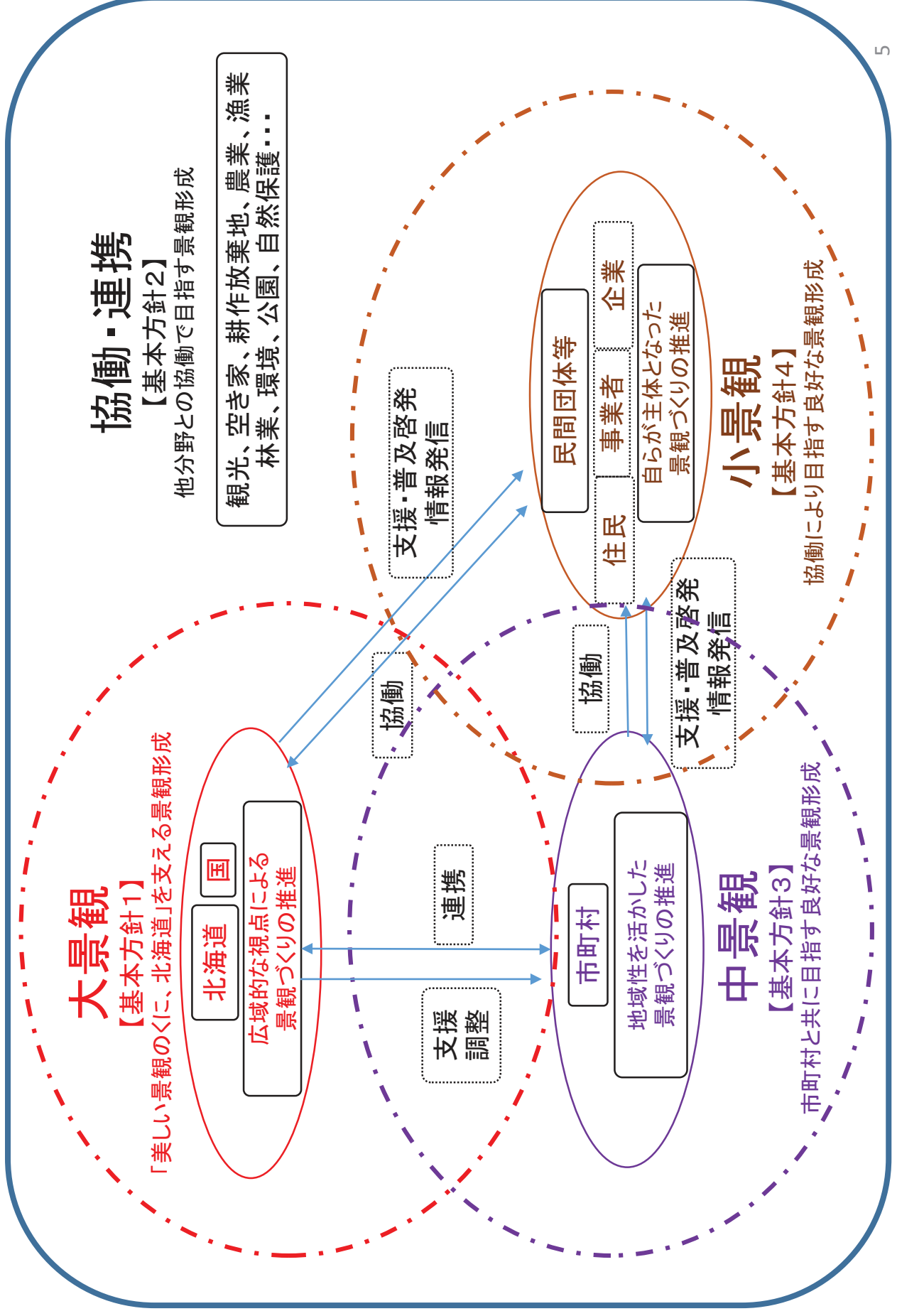
# 残った課題、社会経済情勢の変化と見直しの視点



# 景観の広がりに合わせて分けて、担い手をより明確に



# 新たなビジョンの全体像（案）



# 新たなビジョンの基本方針（案）

## 基本方針1

「美しい景観のくに、北海道」を支える景観形成（大景観）

本道の景観の特性を意識して一体性と連続性のある景観づくりを進めることが「美しい景観のくに、北海道」をつくりまします。道は法令等の運用や市町村への助言などを通じて、広域景観づくりを推進するとともに、大規模な開発や施設整備と景観が調和するよう適切に規制誘導します。

## 基本方針2

他分野との協働で目指す良好な景観形成

本道の雄大な自然はもとより、農地の風景や工場夜景など生産活動が生み出す景観が北海道の重要な観光資源になっています。北海道観光を支える良好な景観保全をはじめ、空き家対策や耕作放棄地対策といった他分野の施策と連携することにより、良好な景観をまもり、つくり、整えていきます。

## 基本方針3

市町村と共に目指す良好な景観形成（中景観）

それぞれの市町村が地域性を活かした景観づくりを進めることが「美しい景観のくに、北海道」をつくりまします。道は市町村とともに多様な景観づくりの機運を醸成し、市町村の取組への支援を強化します。

## 基本方針4

協働により目指す良好な景観形成（小景観）

道民一人ひとりが地域の景観づくりに取り組むことが「美しい景観のくに、北海道」をつくりまします。地域固有の景観の素晴らしさへの「気づき」を促しながら、道は道民をはじめとする様々な主体と協働し、地域の身近な景観づくりへの支援を強化します。